

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 文化協力事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 文化協力派遣
- (2) 文化遺産保存専門家派遣
- (3) 日本古美術保存専門家招へい
- (4) 日本古美術保存専門家派遣

### 2. 催し等事業費

- (1) アジア文化協力
- (2) アジア文化協力（助成）
- (3) 中東文化財保存

## 文化協力事業費

### 1. 人物交流事業費 (1)文化協力派遣

開発途上国からの文化諸分野の人材育成に対する協力要請に応え、日本国内の実績のある専門家を派遣し、現地の指導者・専門家に対する助言・指導ならびに現地事情調査などを行なう。

合計額 1,648,289円

	事業名	団体	人数	国	期間	事業内容
1	オーケストラ指導（ホンジュラス）	北原幸男	1	ホンジュラス	05.03.07～ 05.03.22	ホンジュラス国立オーケストラ指揮の指導

### 1. 人物交流事業費 (2)文化遺産保存専門家派遣

世界各国の文化遺産および海外の博物館・美術館等が所蔵する日本の美術工芸品の保存・修復に協力するため、実績のあるわが国の専門家を派遣し助言・指導および調査等を行なう。

合計額 18,160,315円

	氏名	現職	国	都市	期間	受入団体	事業内容
1	佐藤康治	建築家	カンボジア	シエムリアップ	04.04.01～ 04.09.26	カンボジア文化芸術省	アンコール遺跡保存修復に係る現場技術指導
2	赤澤泰	株式会社鴻池組	カンボジア	シエムリアップ	04.04.01～ 05.03.31	カンボジア文化芸術省	アンコール遺跡保存修復に係る現場技術指導
3	海老澤孝雄 津田豊 中田英史	株式会社ざエトス・文化財修復専門家 株式会社ジオレスト 株式会社文化財保存計画協会	パキスタン	イスラマバード	04.12.03～ 04.12.13	在パキスタン大使館	ガンダーラ、ラニガト遺跡およびその周辺の保存修復に係る技術指導を実施

### 1. 人物交流事業費 (3)日本古美術保存専門家招へい

文化庁との提携事業。米国・欧州の博物館などが所蔵する重要文化財級日本古美術品の保存修復事業。美術品を日本に移送し工房で修復後返却。修復研修機会の提供のため所蔵美術館学芸員も招へいする。

合計額 168,869円

	事業名	国	人数	期間	事業内容
1	ピーボディエセックス博物館	米国	1	05.02.15～ 05.02.19	海外の美術館が所蔵する日本の古美術品の保存・修復に協力することにより、日本美術に対する理解を深めてもらうため、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所との共催で美術品を日本に移送し、国内の工房で修復を完了した上返送する。その際、作品を所蔵する美術館の学芸員を招へいし、保存修復作業の現地調査（中間検査）の機会を提供

## 1. 人物交流事業費 (4) 日本古美術保存専門家派遣

文化庁との提携事業。米国・欧州の博物館などが所蔵する重要文化財級日本古美術品の保存修復事業。現地事前調査のため専門家を海外派遣する。

合計額 5,530,695円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	加藤寛 小松大秀 竹内奈美子 村岡俊 渡辺仁之	伝統技術研究室長 東京国立博物館 上席研究員 東京国立博物館 主任研究員 東京文化財研究所 管理部予算係長 東京文化財研究所 管理部企画渉外係長	ドイツ ポーランド	04.10.18～ 04.10.27	フランクフルト 工芸美術館、ド レスデン国立博 物館陶磁館、ワ ルシャフ国立博 物館、クラコフ 国立博物館	海外の美術館や博物館などが所蔵する日本関係美術品に関する調査等を行なった
2	鈴木廣之 津田徹英 綿田稔	東京文化財研究所美術部日本東洋美術研究室長 東京文化財研究所美術部主任研究官 東京文化財研究所情報調整室研究員	スイス チェコ	04.11.15～ 04.11.21	リートベルク美術館、プラハ国立美術館、ナールステック博物館	海外の美術館や博物館などが所蔵する日本関係美術品に関する調査等を行なった

## 2. 催し等事業費 (1) アジア文化協力

アジアの有形・無形の文化財を保存・振興する国際的な共同作業を企画実施・支援する。伝統を現代に生かすことを目的とした様々な国際共同研究、専門家派遣、現地調査、およびワークショップなどを実施・支援する。

合計額 8,248,871円

	事業名	国	期間	事業内容
1	シリキット王妃72年慶祝アジア・クラフト・フェア	タイ	04.08.08～ 04.08.17	シリキット王妃72年慶祝事業としてタイ国政府が主催するアジア・クラフト・フェアに、日本人の伝統工芸専門家（和傘・組紐）2名を派遣し、展示・実演・ワークショップ等を実施し、タイおよびアジア諸国から参加する伝統工芸の担い手と交流を行なった
2	平成15年度沖縄国際フォーラム報告書作成	アジア地域区分困難	04.07.20～ 04.11.30	平成15年度沖縄国際フォーラム「沖縄のうたきとアジアの聖なる空間：文化遺産を活かしたまちづくりを考える」の報告書を、日本語および英語で刊行

## 文化協力事業費

	事業名	国	期間	事業内容
3	アジア・環太平洋地域イコモス文化遺産防災専門家国際会議	アジア地域区分困難	04.12.01～ 05.03.31	文化遺産の防災に関するアジア域内での国際協力を推進するための国際会議を2005年1月に実施。アジア環太平洋地域各国のイコモス国内委員会からの専門家が参加するほか、ユネスコ世界遺産センター、イクロム本部、イコモス本部などの国際機関からも専門家が参加し、日本国内の世界遺産（古都京都の文化遺産および姫路城）の防災設備を視察したうえで、各国の取り組み状況に関する発表・意見交換を行ない、当該分野における今後の国際協力の枠組みを模索

### 2. 催し等事業費 (2) アジア文化協力 (助成)

アジア各国の文化振興支援を目的とした国際共同作業に基づく会議・ワークショップ・セミナー・研修などに対し助成を行なう。

合計額 22,285,241円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	インドネシアの陶磁器出土遺跡専門家養成事業	バンテン遺跡研究会	インドネシア 日本	04.06.01～ 04.12.31	バンテン遺跡研究会、ジャワ島西端のバンテン遺跡（16～18世紀）の出土陶磁器に関する日本とインドネシアの共同事業。インドネシア国立考古学センターから若手研究員を主体とした5名が参加し、訪日研修と現地での共同発掘調査を実施
2	南東スラウェシのプトン城遺跡保護のための地域参加地図作成	国立ハサヌディン大学東部インドネシア研究センター	インドネシア	04.07.01～ 05.03.31	国立ハサヌディン大学東部インドネシア研究センター、スラウェシ島南東部プトンにある定石を保存し活用するための住民参加を促進するため、地元住民直接参加によるコミュニティー・マッピング作業とワークショップを実施
3	南スラウェシ少数民族の口承伝統記録の保存・出版	国立ハサヌディン大学研究センター社会文化研究部	インドネシア	04.07.01～ 05.03.31	国立ハサヌディン大学研究センター社会文化研究部、南スラウェシ在住の4つの少数民族（カジャン、バジョイ、ト・バロ、ト・ロタン）に伝わる口承伝統の記録保存事業の仕上げを行なった。これまでに収録された民話のカタログを作成し、音源のCD化を図る
4	地方行政における伝統的知識システムの活用	地方行政学院	フィリピン	04.04.01～ 05.03.31	地方行政学院、地方分権化が進むアジア太平洋地域の地方自治における伝統的知識システムの活用を推進することを目的とし、そのためのメカニズムの確立、モジュール開発とパイロット事業実施、問題意識の継続的な啓発を実施し、成果を広く発表する事業
5	ベトナム少数民族無形文化遺産調査・映像記録化および人材養成プロジェクト	ベトナム少数民族無形文化遺産調査・映像記録化および人材養成プロジェクト 日本委員会	ベトナム	04.04.01～ 05.03.31	ベトナム少数民族無形文化遺産調査・映像記録化および人材養成プロジェクト日本委員会

	事業名	団体	国	期間	事業内容
6	グローバリゼーションの中の伝統音楽	ベトナム音楽研究所	ベトナム	04.07.01～ 04.10.31	発展途上国はどのように文化的アイデンティティを守るのか、同時にグローバリゼーションからどのような果実を得ることができるのかをテーマに、伝統音楽を具体的な題材として、東アジア・東南アジア各国の研究者が事例紹介等を行なった
7	ブータン歴史的建造物保護エッセイコンテストと福井県熊川宿との文化交流	ブータン政府内務文化省文化局	ブータン	04.08.01～ 05.03.31	ブータンの政府内務文化省文化局、ブータン国内の歴史的建造物保存に対する国民の意識を啓発するため、歴史的建造物保護に関する論文コンテストを実施し、優秀な論文執筆者を対象にネパールと日本における歴史的建造物保護の実例を学ぶ研修を実施する。ネパールおよび日本の歴史的建造物保護関連NGOが協力
8	ブータン王立美術工芸学校長日本伝統美術工芸研修	日本ブータン芸術委員会	ブータン	04.10.11～ 04.10.26	日本ブータン芸術委員会、自国の伝統文化復興のための教育に取り組むブータン王立美術・工芸学校の指導者を対象とした訪日研修の実施。2004年7月に約2週間の訪日研修を行い、日本各地の伝統美術・工芸手法（岩絵具製法、わし作り、仏教彫刻、金箔・金泥製法等）の技術研修を行なった
9	東アジア作曲家協会国際シンポジウム「伝統音楽と現代音楽の架橋」	九州作曲家協会	アジア地域区分困難	04.04.01～ 04.10.31	九州作曲家協会、日本（九州・沖縄）・中国（上海）・韓国（大邱・釜山）の伝統音楽研究家、作曲家、演奏家が伝統音楽を基盤におく研究と作品を持ち寄り、シンポジウム、公開リハーサル、ワークショップを行なうとともに、宮崎県の伝統芸能（高千穂神楽）を視察し交流した
10	国際シンポジウム「東アジアにおける美術・文化財情報のネットワーク化を考える」	アート・ドキュメンテーション研究会	アジア地域区分困難	04.04.01～ 05.02.28	アート・ドキュメンテーション研究会、東アジア（日本・中国・韓国）の美術品・文化財情報に関する各国の専門家を招きそれぞれの国の状況について発表と討論を行い、お互いの国内における美術品・文化財情報の実情を互いに理解したうえで、今後の相互協力体制構築の方法を返答するための国際会議。2004年8月6～7日に兵庫県立美術館で実施

## 2. 催し等事業費 (3)中東文化財保存

中東の有形・無形の文化財を保存・振興する国際的な共同作業を企画実施・支援する。伝統を現代に生かすことを目的とした様々な国際共同研究、専門家派遣、現地調査、およびワークショップなどを実施・支援する。

合計額 4,102,076円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	アフガニスタン陶芸文化復興支援	アフガニスタン	05.02.01～ 05.12.31	復興に向かいつつあるアフガニスタンで伝統的な陶芸に携わる技術者と無形文化財継承に係わる行政官を日本に招へいし、日本の陶工、陶芸家および窯業、陶芸産地の行政関係者との交流を通じ、焼き物という共通の文化にかかわるわが国とアフガニスタンの人的交流を深め、協力のネットワークを構築した

## 文化協力事業費

	事業名	対象国	期間	事業内容
2	イラク国立博物館館長招へい・講演会	イラク	04.03.30～ 04.04.06	イラク国立博物館館長ドニー・ジョージ氏を招へいし、博物館におけるイラク戦争時の破壊・収奪の状況とその後の復興への努力等につき講演会を行なうほか、日本の文化財保存支援団体との協議・関係構築を行なった